



体力づくりは

学校 家庭 地域の連携で

…… 令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 ……

全国体力・運動能力、運動習慣等に関する調査(実技8種目および児童生徒質問紙)が、小学5年と中学2年を対象に実施されました。
体力向上に向けて、体育の授業をはじめ、家庭や地域と連携した取り組みの充実が重要になります。まち縦ぐるみで、子どもたちの体力づくりの取り組みが期待されます。

※お問い合わせは、教育委員会教育推進課(☎2-3014)まで

■体格(身長・体重・肥満瘦身)の傾向

- 小学校男子の身長は、6年ぶりに全国を下回りました。体重は、2年連続全国・全道を下回りました。
- 小学校女子の身長は、7年ぶりに全国・全道を下回りました。体重は、全国とほぼ同じです。
- 中学校男子の身長・体重は、3年連続で全国・全道を上回りました。
- 中学校女子の身長は5年連続全国を上回り、体重は2年ぶりに全国・全道を上回りました。



■種目別運動能力の傾向

- 小学校男子は、8種目中6種目が全国を上回りました。全国を下回った種目は、「上体起こし」と「反復横とび」です。課題であった柔軟性が大きく改善しました。「反復横とび」(瞬発力)は依然として課題となっています。
- 小学校女子は、「20mシャトルラン」だけが全国を上回り、他の7種目が全国を下

- 中学校男子は、「握力」「立ち幅とび」が全国・全道を上回りました。「長座体前屈」は、3年連続全国・全道を下回り、「20mシャトルラン」や「50m走」が全国との差が大きくなっています。
- 中学校女子の「握力」が5年連続で全国を上回りました。「長座体前屈」「50m走」「ハンドボール投げ」も全国を超えました。「体力合計点」が6年ぶりに全国を上回りました。ただ、「上体起こし」は全国を大きく下回っています。

■運動に対する意識や運動習慣の傾向

- 小学校男子は、運動が好きで「体育の時間」でもたくさん体を動かしています。一方、平日にテレビやパソコンの画面を5時間以上見ている割合が全国の2倍超になっています。
- 小学校女子の45%が平日にテレビやパソコンの画面を見る時間が1時間以上2時間未満と答えている一方で、3時間以上4時間未満と答えている児童が25%となっています。これは、全国・全道の2倍の数値です。地域のスポーツ少年団等に取り組ん

でいる割合は高くなっています。

- 中学生は男子も女子も「運動やスポーツ」をすることが好きと答えている割合が、全国・全道よりも多くなっています。また、部活動への参加率も高いです。一方で、平日にテレビやパソコンの画面を見る時間が5時間以上と答えている生徒が、全国・全道の2倍程になっています。また、朝食を毎日食べる割合は全国・全道よりも低くなっています。

■今後の取り組み

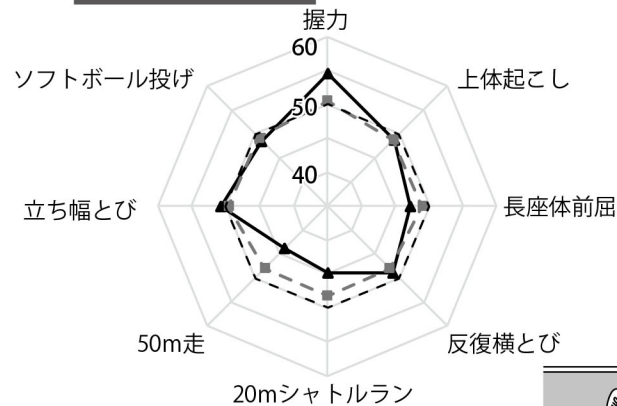
今回の調査学年においては、「上体起こし」と「反復横とび」が男女共に全国・全道を下回り、体幹部の筋力や瞬発力が弱いことがわかります。上士幌町では、小学校にも体育専門の教員を配置していますので、中学校との連携を密にして課題克服に向けて体育の授業を中心に運動能力の向上に努めていきます。

また、テレビやゲーム、パソコン、スマホ等の画面を見る時間が長いという傾向に歯止めがかからない状況が続いており、さまざまな弊害が出ています。子どもたちの生活習慣の改善については、学校・家庭・地域がしっかりと手を結び、危機意識をもって対応していかなければなりません。

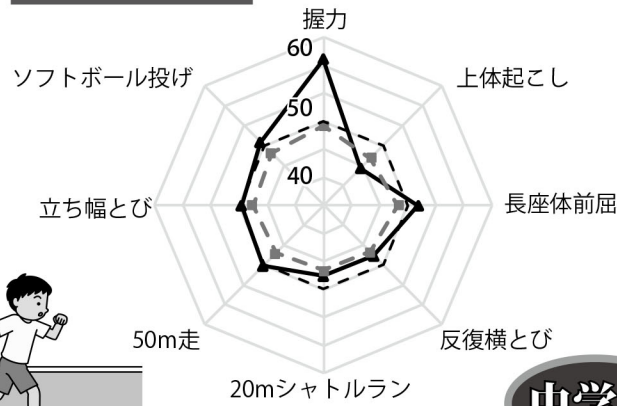
町内中学校の状況(学校数:1校、生徒数:40名)

● R01 上士幌町
■ R01 北海道
--- R01 全国

【中学2年・男子】



【中学2年・女子】



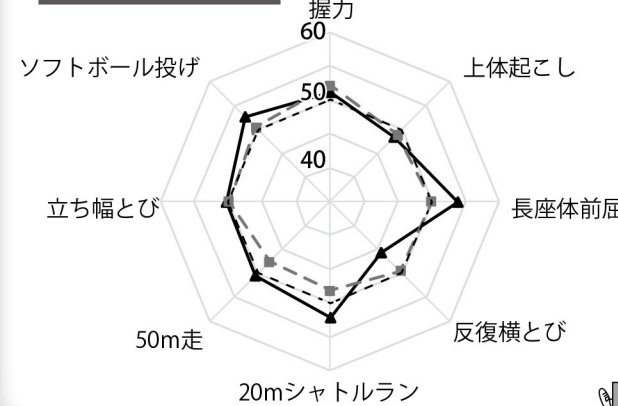
中学生

○男子は、「握力」「立ち幅とび」の2種目において全国を上回りました。
○女子は、「握力」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の4種目において全国を上回りました。

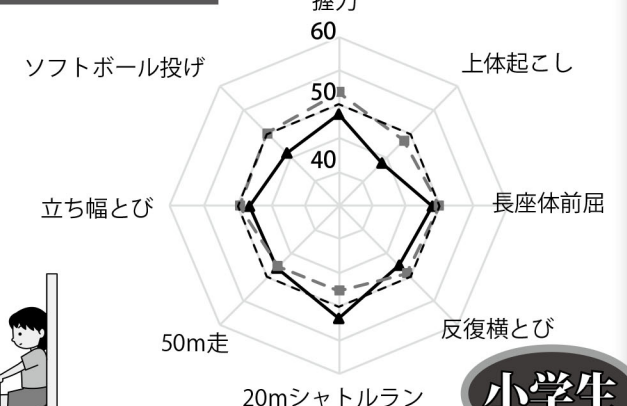
町内小学校の状況(学校数:2校、児童数:39名)

● R01 上士幌町
■ R01 北海道
--- R01 全国

【小学5年・男子】



【小学5年・女子】



小学生

○男子は、「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の6種目において全国を上回りました。
○女子は、「20mシャトルラン」において全国を上回りました。

上士幌町の児童・生徒の体力の傾向
※全国平均を「50」とした場合の数値